

# 事業報告書

## I. 事業の概況

社会福祉法人の位置づけが変化することで、令和元年度は福祉サービスの中心的役割を果たし、公益性の高い事業運営を行う事を目標にした組織づくりにむけて次の5項目を重点事業として活動してきた。

- (1)サービスの質の向上
- (2)職員のレベルアップ
- (3)人材の確保・育成・定着
- (4)業務の効率化
- (5)ハード面の整備

1. 事業収支については、施設の老朽化による設備改修や温冷配膳車の導入と若干名ではあるが人材が増えたため人件費が膨らみマイナスの決算となった。

長年の懸案事項であった温冷配膳車の導入によって器も変わり、暖かい物は暖かく・冷たいものは冷たく食事の提供ができた。その結果、日ごろ食事摂取量の少ない利用者の摂取量が増え、「おいしくなった」という言葉が聞かれた。

2. 介護保険収入による利用者状況から特養は、平均介護度 4.18（前年比+0.21）・延入院者数 1,378 名（前年比+118 名）・稼働率 94.7%（前年比-0.2）、ショートステイは、平均介護度 3.31（前年比+0.23）・稼働率 86%（前年比+0.6）、デイサービスは、平均介護度 2.07（前年比+0.01）・中重度加算 36.6%（前年比-1.0）・稼働率 83.5%（前年比+6.0）という実績であった。

各事業所とも利用者の介護度が年々高くなってきており、特養やショートステイでは、入院リスクや医療依存度の高い利用者が多くなってきている。利用者の身体的変化を早期に発見することは、各専門職の技量がサービスの向上や経営にも大きく影響を及ぼした。

今後、さらに要介護度や医療依存度の高い利用者が増加すると考えられる。利用者に求められるサービス提供と確実な介護収入を得るには、各事業所の事業目標を具体的に示し直接介護の時間を得るための業務改善が必須である。次年度以降は、客観的な分析から各事業所の管理・運営ができる組織作りが重要であると考えます。

3. 人材確保や育成に関しては、介護福祉士資格取得や認知症指導者等の施設外研修に積極的に参加し、介護福祉士取得率は 74.6%、離職率 6.12%（前年比-1.68）であった。

人材確保については、職員の紹介や EPA による外国人雇用を実施し、職員数が若干名増加した。EPA 介護候補生を受け入れるにあたり、現場での接遇やマニュアルの見直しが実施され、職員のモチベーションアップにつながったと考える。育成面では、看護

師が看護協会主催の管理者研修に参加した。今後の部門管理を質と経営の両面から施設に貢献できることを期待する。

次期リーダーによるプロジェクトメンバーを経営コンサルタントの力を借りてリーダーシップが発揮できるような問題解決トレーニングを実施した。各メンバーは課題解決に取り組み年度末にそれぞれが発表を行った。その姿勢から大きな成長がみられた。

また、組織強化を図る土台作りとして中間管理職を対象とした研修を開始した。この研修は継続事業として行うこととした。その基礎となる当施設の理念が、職員一人ひとりに理解・浸透されていないために、理念を時代に即したものに変更した。

以上、年度当初に掲げた事業計画に基づき事業展開を行った結果、サービス活動収益は517,201千円と前年に比較して14,790千円増加した。サービス活動費用は、人件費、事業費、事務費及び減価償却を含めた費用合計は535,478千円となり前年比33,368千円増加した。結果サービス活動外増減額及び特別増減額をいれた当期活動増減差額は△16,120千円で前年比△18,640千円となった。

2020年度は、ようやく落ち着いてきた介護職員数を今後も確保していくが、人件費が上昇しているため一層の工夫で稼働率を上げるとともに、地域社会への貢献を積極的に行い、地元の期待に応えていく所存である。

## II. 庶務事項

### 1. 理事会

令和元年 6 月 5 日	平成 30 年度事業報告・決算報告・監事監査報告承認 定時評議員会(第 87 回評議員会)開催事項の承認
令和元年 6 月 21 日	理事長選定承認
令和元年 11 月 6 日	令和元年度上半期事業報告
令和 2 年 3 月 16 日	令和元年度資金収支補正予算承認 令和 2 年度事業計画及び収支予算承認 第 88 回評議員会開催事項の承認

### 2. 評議員会

令和元年 6 月 21 日	平成 30 年度事業報告・決算報告・監事監査報告承認 理事 6 名、監事 2 名任期満了につき改選承認
令和 2 年 3 月 25 日	令和元年度資金収支補正予算承認 令和 2 年度事業計画及び収支予算承認 役員等報酬規程一部改正承認

### 3. 第三者委員会

令和元年 8 月 21 日	平成 31 年度苦情処理実績報告
---------------	------------------

### 4. 登記事項

令和元年 6 月 27 日	役員に関する事項（理事長の重任）
令和元年 6 月 27 日	資産の総額の変更

### 5. 届出事項

令和 2 年 2 月 18 日	介護保険事業指定更新申請（介護老人福祉施設、 （介護予防）短期入所生活介護、通所介護、総合事業）
-----------------	---

### 6. その他

令和元年 5 月 1 日	元号、平成から令和に変更
令和元年 7 月 30 日	東消防署立ち入り検査
令和元年 10 月 7 日	温冷配膳車導入
令和元年 8 月 24 日	下水道共用開始
令和元年 10 月 5 日	桃山園秋祭り開催

### Ⅲ. 法人内部監査

令和2年5月19日

- 監査実施事項 ①法人役員等の業務が適切に執行されているか。  
②事業報告について、法令及び定款に従い実施されているか。  
③計算書及び財産目録が適正に処理されているか。
- 指摘事項 なし

### Ⅳ. 所轄庁からの報告徴収・検査

令和1年7月25日

- 指導監査 新潟市福祉監査課・高齢者支援課
- 対象 ケアハウス桃山園
- 文書指摘 なし

令和元年12月9日

- 指導監査・実地指導 新潟市福祉監査課
- 対象 特別養護老人ホーム桃山園、ショートステイ桃山園、法人本部
- 文書指摘 理事及び監事に対する報酬の総額が定められていません
- 改善状況 役員等の報酬規程の一部改定（令和2年3月25日）を実施

### Ⅴ. 苦情の受け付け及び解決の状況

当年度におきましても、福祉サービスにおける苦情の受け付けはありませんでした。

### Ⅵ. 地域における公益的取組の状況

- ◆ 社会福祉法人等による生活困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度を実施し、法人全体で797,190円を「利用者負担軽減額」において計上した。
- ◆ 令和元年10月5日（土）に、「ももやま園秋まつり」を開催。当園利用者へのサービス提供及び地域交流のため、地域の方々を招き、無料又は低額な料金でサービスを提供した。地域の方には数えきれない程の方々に参加いただいた。

## VII. 令和元年度 研修実績

令和元年度は、職員の資質向上とキャリアパスを目的に研修を行った。施設内研修は341名、施設外研修は83名が参加した。施設外研修において、学んだ知識や技術を多くの職員にひろめるために伝達研修会を行った。回数を重ねる毎にプレゼンテーション能力が高まった。2月以降の研修については、新型コロナウイルスの影響で、研修の中止・延期が相次ぎ、参加できずに終わったものもあった。

### 【内部研修】

月/日	研修名	参加者・対象者	内容
6/5	6月防災訓練	看護・介護職 16名	・防災マニュアルに沿っての説明 ・備蓄保管場所の確認
6/24	褥瘡研修	看護・介護職 38名	・スキントラブルが起こりうるオムツのあて方
7/9	虐待・身体拘束スピーチロック	看護・介護職 38名	・スピーチロックという言葉知らない職員にも周知できた
7/30	接遇マナー研修	看護・介護 28名	・接遇マナーの重要性 ・接遇マナーの5原則 ・表情、態度、挨拶、身だしなみ ・接遇の基本の言葉遣い、電話対応
8/6	感染症対策研修、吸引研修	看護・介護 34名	・吸引の手技を通して、清潔操作、衛生的な手洗いを学ぶ
8/7	リスクマネジメント研修	看護・介護 26名	・介護事故発生状況と事故発生の法的責任 ・介護の事故防止対策
9/18	職員による伝達研修	看護・介護 22名	・臨港病院NST研修 ・記録の研修 ・ストーマケア研修 ・ビジネスマナー研修 ・看取りセミナー
10/2	認知症サポーター養成講座	看護・介護 54名 地域の方 4名	・「認知症を学び地域で支えよう」をテーマに、認知症の症状や対応についての学習
11/18	感染対策研修、嘔吐処理研修	看護・介護 25名	・嘔吐物処理を適正に行い、感染症を広げない方法を学ぶ

1/22	介護現場における虐待防止、身体拘束廃止に向けて	看護・介護 24名	・虐待防止、身体拘束廃止、虐待防止の検証
1/28	排泄研修	看護・介護 36名	オムツの当て方の復讐
2月	救急法講習会 AED使い方	コロナウイルスの影響により中止	
3月	リスクマネジメント研修 事故報告書・ヒヤリハット報告の検証	コロナウイルスの影響により中止	

### 【外部研修】

区 分	参加数 (延人数)	受講内容等(抜粋)
管理者対象研修	8名	管理者向け研修、地域包括ケアシステムに関する研修、認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修、健康経営受動喫煙セミナー
介護職(主任・副主任)対象研修	11名	NST研修、認知症介護実践者研修、経営管理研修、認知症研修、救急搬送研修、虐待防止研修、外国の方に理解しやすい日本語の伝え方研修、ストーマケア研修、スーパービジョン研修
介護職(中堅職員)対象研修	13名	喀痰吸引1号・2号研修、認知症介護実践者研修、介護福祉士実務者研修、NST研修
介護職(一般職員)対象研修	15名	ビジネスマナー研修、キャリアパス対応生涯研修課程、アクティビティ・ケア研修、アンガーマネジメント研修、ストーマケア研修、記録の書き方研修、不適切ケアと虐待研修、救急研修会、看取りケア研修
生活相談員・ケアマネジャー対象研修	16名	NST研修、介護支援専門員研修、認定調査従事者現認研修、地域包括ケアシステムに関する研修、医療と介護リレー学習会
看護職・医療技術職・栄養士対象研修	13名	喀痰吸引等指導者研修、呼吸ケア研修、NST研修、看取りセミナー、摂食嚥下障害に関する研修、フィジカルアセスメント研修、給食施設衛生指導管理研修、地域包括ケアシステムに関する研修、医療と介護リレー学習会
事務職員対象研修	7名	衛生管理者受験対策セミナー、算定基礎、年末調整に関する研修、労務促進に関する研修、働き方改善研修

# 令和元年度 補助金等事業実績報告

令和元年度における当法人が計上した補助金事業等の事業について下記のとおり報告します。

No.	補助金等の名称	交付目的及び概要	交付団体等	交付額	当事業による効果等
1	平成30年度結核予防費補助金事業	特別養護老人ホームの入所者に対する結核予防に対する補助	新潟市（保健所保険管理課）	¥55,000	平成31年度に実施した結核予防のための経費補助。本事業により、入所者の胸部レントゲンなど結核予防のための措置が実施できた
2	令和元年度結核予防費補助金事業	特別養護老人ホームの入所者に対する結核予防に対する補助	新潟市（保健所保険管理課）	¥54,166	令和元年度に実施した結核予防のための経費補助。本事業により、入所者の胸部レントゲンなど結核予防のための措置が実施できた
3	平成30年度社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業助成金	介護サービスを利用する低所得者に対する利用者負担軽減額の補助	新潟市（福祉部介護保険課）	¥223,000	平成30年度における当法人が負担した利用者負担金減免額1,059,734円に対する措置。本事業により社会貢献の実施ができた
4	人材開発支援助成金（一般訓練コース）	従業員のキャリア形成を促進するための助成	新潟労働局		本事業により介護福祉士実務者研修や認知症介護研修、その他資格取得のための研修に受講することができ、職員の資格取得を促進させることができた（対象職員 計5名分）
5	福祉施設地域ふれあい事業の助成金	地域での交流等に対して実施する経費の助成	新潟市東区社会福祉協議会	¥27,000	本事業により桃山園地域ボランティア交流会を実施できた
6	両立支援等助成金（育児休業等支援コース 育休取得時）	育児休業を円滑に取得するための助成	新潟労働局	¥285,000	本事業により育児休業のプログラムを作成し、円滑に育児休業の取得をさせることができた。
7	令和元年度外国人介護福祉士候補者受入施設支援事業費補助金	外国人介護福祉士候補者受入施設における技能実習生の日本語学習等の経費の一部についての補助をすることにより、事業の円滑な推進を図る	新潟県	¥170,000	本事業により当法人に勤務する外国人介護福祉士候補者の教育が円滑に実施することができた。
8	軽費老人ホーム事務費補助金	軽費老人ホームの運営費の補助	新潟市（福祉部高齢者支援課）	¥17,358,000	本事業により当法人が運営する軽費老人（ケアハウス）の利用者に対し包括的なサービスが提供できた
9	平成31年度電力需要の低減に資する設備投資支援事業補助金	省エネルギー・省電力投資の支援	（一社）環境共創イニシアチブ	¥433,333	本事業により、厨房冷蔵庫庫の入替を実施することができ、省エネルギー化をはかることができた。
合 計				¥18,816,399	